

SDGs とは？



目標 6 安全な水とトイレを世界中に

目標 6 のターゲットは 9 です。主なターゲットをご紹介します。

- 6.1 2030年までに、全ての人々の、安全で安価な飲料水の普遍的かつ衡平なアクセスを達成する。
- 6.2 2030年までに、全ての人々の、適切かつ平等な下水施設・衛生施設へのアクセスを達成し、野外での排泄をなくす。女性及び幼児、並びに脆弱な立場にある人々のニーズに特に注意を払う。
- 6.3 2030年までに、汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物・物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用の世界的規模で大幅に増加させることにより、水質を改善する。



SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) は、「誰一人取り残さない (leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015 年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」の中で掲げられました。2030 年を達成年限とし、17 のゴールと 169 のターゲットから構成されています。



認知症地域支援推進員のつばやき No. 54

息子の顔を忘れた亡き父とのかかわり

亡き父の話です。身体の自由が段々利かなくなる病気を患い、病状の進行とともに認知症を併発しました。私が 20 歳になるころには目の前の人や誰かわからなくなることも増え、妄想や幻視から、日中夜間通してごそごそ物をいじったり、寝ている家族を起こしたりしていました。また、息子である私のことを認識できないときもあり、顔を合わせるたびに怒ることが年々増えていきました。

そんな父ですが、母と一緒にいる時は大人しく、家族全員で食事をするときなどは普段の物静かで優しい父でいました。

認知症の人は、ふわとした世界の中で生活しており、「安心できる人」「尊厳を示したい人」を素直に表現しているような気がします。父は、母に頼り安心を見出し、息子である私には「父でいたかった」のかもしれない。表現が認知症のものだったとしても、必ずその人本来の姿があるものです。大切な人のありのままを認めるのと同じで、一人の人として認め合って付き合うことが認知症の人であっても大切な事なのではないかと感じています。

私たちはここにいます！

認知症地域支援推進員配置施設

- 地域包括支援センター ☎ 6 8 - 8 9 4 1
- 複合施設 響 ☎ 6 1 - 8 5 0 0
- 利根町保健福祉センター ☎ 6 8 - 8 2 9 1
- 介護老人保健施設もえぎ野 ☎ 8 4 - 6 0 8 1



男女共同参画ってなあに？ Part 106

令和 4 年度 性別による無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス) に関する調査結果が出ました

無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス) とは、自分自身は気づいていない「ものの見方やとらえ方のゆがみや偏り」をいいます。自分自身では意識しづらく、ゆがみや偏りがあるとは認識していないため、「無意識の偏見」と呼ばれます。

内閣府男女共同参画局の調査では、対象者に家庭・コミュニティ領域と職場領域での性別役割、その他性別に基づく思い込みについて、前回調査 (令和 3 年度に実施) の測定項目 (36 項目) に、新規項目 (5 項目) を追加した 41 項目を調査しました。

回答者には最初に自分の考えにあてはまるかどうか聞き、その後、性別に基づく役割や思い込みを決めつけた経験を聞いています。性別役割意識について、男女ともに上位に入った 8 項目のうち、7 項目は「そう思う」または、「どちらかといえばそう思う」と回答した割合は男性の方が高い割合となっています。

調査結果をご覧ください。気づきの機会となり、解消の一助となればと思います。

● 性別役割調査 (全体) 「そう思う」 + 「どちらかといえばそう思う」の合計

性別役割に対する考え							
男性 上位10項目	回答者数: 5452	(%)	(参考) 前回順位	女性 上位10項目	回答者数: 5384	(%)	(参考) 前回順位
1 男性は仕事をして家計を支えるべきだ		48.7	2	1 男性は仕事をして家計を支えるべきだ		44.9	2
2 女性には女性らしい感性があるものだ		45.7	1	2 女性には女性らしい感性があるものだ		43.1	1
3 女性は感情的になりやすい		35.3	4	3 女性は感情的になりやすい		37.0	3
4 デートや食事のお金は男性が負担すべきだ		34.0	3	4 育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない		33.2	4
5 育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない		33.8	5	5 女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い		27.2	-
6 女性は弱い存在なので、守られなければならない		33.1	-	6 女性は弱い存在なので、守られなければならない		23.4	-
7 男性は結婚して家庭をもって一人前だ		30.4	7	7 共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先すべきだ		21.6	5
8 男性は人前で泣くべきではない		28.9	6	8 デートや食事のお金は男性が負担すべきだ		21.5	10
9 女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い		28.6	-	9 組織のリーダーは男性の方が向いている		20.9	8
10 共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先すべきだ		28.4	8	9 大きな商談や大事な交渉事は男性がやる方がいい		20.9	8
11 家事・育児は女性がすべきだ		27.3	9	11 家事・育児は女性がすべきだ		20.7	7
14 家を継ぐのは男性であるべきだ		25.4	10	12 共働きで子どもの具合が悪くなった時、母親が看病すべきだ		20.3	6

男女両方で上位 10 位に入っている項目  
 ※ 赤字の項目は今回調査で追加した項目  
 ※ 「-」は前回測定項目になし

詳細の調査結果をご覧になりたい方は  
 こちらの QR コードからどうぞ →



資料：内閣府男女共同参画局より



● 問い合わせ先 政策企画課 政策企画係 ☎ 6 8 - 2 2 1 1 (内線 3 3 3)